

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2905

科目概要記入欄

1. 開設大学	島根県立大学		開催方法	■対面（ ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	2. 正式科目名 副題	水産経済政策論		配当年次	3・4
			受入学年	3・4	
	学問分野	番号	27	名称	社会科学系 その他
3. 担当教員名	三輪 千年				
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	前期集中	
6. 開講期間 曜日・時間	2024年 9月 9日（月）～ 2024年 9月 12日（木） 月曜日～木曜日 9:10 ～ 16:20				
7. 基礎知識の有無	・「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	若干名		9. 選考方法	書類選考	
10. 科目内容・ 授業計画	本授業では、水産業が国家にとって必要かつ重要な産業であることを、先ず歴史的に考察する。封建制下の江戸後期から明治維新以降の資本制下で水産業が産業化していく過程における国家政策としての漁業制度の変遷を押さえる。水産業の発展史を考察する中で、「水産経済政策」の基礎的な知識を学ぶ。その上で、水産業の近代化、国際化への対応に向けた政策とその実現過程をグローバルな観点からも分析と考察を行う。加えて、今日、一次産業に課せられた課題となっている地域経済の再生や復興に水産業が果たす役割や課題についても講義する。 【到達目標】 地域資源を利活用した地域産業としての水産業政策を、国や地方自治体が実施する課題として捉え、広く国民的な経済厚生の一環として水産経済政策を論理的に思考・表現できる能力を涵養する。 第1回 プロローグ、産業としての漁業・水産業 第2回 社会の発展と産業-経済政策とは- 第3回 水産業の特性-自立更新制資源を生産対象とした産業特性- 第4回 水産経済の意義と特質-食糧産業から食料・食品産業へ- 第5回 漁業・水産業をめぐる国際関係 -国連海洋法会議と国際動向- 第6回 水産経済政策の歴史的展開 1 -戦前期以前の漁業政策- 第7回 水産経済政策の歴史的展開 2 -終戦から戦後復旧の激動期- 第8回 水産経済政策の歴史的展開 3 -高度経済成長期以降の展開- 第9回 水産経済政策の歴史的展開 4 -200 カイリ時代から今日まで- 第10回 経済のグローバル化と水産経済政策 1 -狭まる漁場・資源論争- 第11回 経済のグローバル化と水産経済政策 2 -輸出産業への回帰- 第12回 地域振興と漏れバケツ理論 第13回 これからの海洋産業改革 -ブルーエコノミー- 第14回 地域振興で大切なこと -山口県萩市の事例- 第15回 エピローグ、全体を通じての総合討論				
11. 試験・評価方法	講義を通して「答え」を得るのではなく、自らの答えを引き出す「考える力」を身に付ける。講義は“聴く”だけでなく、授業に積極的に参加し、一緒に考える。講義中の質問など授業への参加度と、提出レポートにより成績評価（基礎的知識を踏まえたオリジナリティを重視）を行う。				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項	講義テキストは、プリントにて配布する 【参考文献】 「ポイント整理で学ぶ水産経済」廣吉勝治・佐野雅昭共著（北斗書房）2008.08 「日本漁業の真実」濱田武士著（ちくま新書）2014.03 「日本人が知らない漁業の大問題」佐野雅昭著（新潮新書）2015.03 「日本の労働市場開放の現況と課題」堀口健二・三輪他（筑波書房）2017.11 「資本主義の新しい形」諸富徹著（岩波書店）2020.01				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否